

<発表事由>

- 1 入院事例
- 2 死亡事例
- 3 集団発生事例**
- 4 その他(特に注意喚起等が必要)

令和4年10月13日 15:00 現在
保健医療局 健康医療部 保健予防課 担当: 麻生嶋、澤田
TEL 711-4270 (内2061)

腸管出血性大腸菌感染症の発生について

早良保健所が保育施設職員**2名**の腸管出血性大腸菌感染症の発生を探知し、行政検査の結果、当該職員**2名**が感染した細菌が同一の由来のものと確認されましたので、お知らせいたします。

1 概要

- 9月27日(火) 早良区内の保育施設から、当該施設で実施した定期的な検便で職員**2名**から腸管出血性大腸菌(0(型不明):VT1)が検出されたと早良保健所に報告があった。
(いずれも無症状)
- 9月27日(火) 早良保健所が、職員が勤務する保育施設について、健康調査、感染拡大防止の指導を実施。
- ~10月11日(火)
- 10月12日(水) 行政検査の結果、職員**2名**が感染した細菌が同一の由来のものと確認された。

2 陽性者の区分(現時点)

職員	性別	50歳代	計
	男	0 (0)	0 (0)
	女	2 (0)	2 (0)
	計	2 (0)	2 (0)

()内の数は、有症状の人数

※行政検査の結果、上記のほか、職員1名から(0(型不明):VT2)、園児2名から(O103:VT1)を検出したが、型が異なるため、上記2名の集団発生事例と関連はないと考えている。なお、いずれも無症状。

3 行政対応

患者及び家族並びに保育施設に対する健康調査・感染拡大防止の指導を実施。

4 原因 調査中

腸管出血性大腸菌感染症患者・感染者の福岡市への届出状況(令和4年10月13日現時点)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
3	5	2	3	4	6	9	5	19	7	8	4	4	76
4	4	2	4	2	11	18	19	21	13	6	-	-	100

※本件を含む。

※腸管出血性大腸菌は、O-157が代表的ですが、他にO-111、O-26などがあります。上の表は、これらの総数です。

【特記事項】

- 患者及び家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内での報道をお願いします。
- 「集団発生」は、1週間以内に同一感染系統と見られる2例以上の発生を見た場合をいいます。ただし、同一家庭内の複数発生は含みません。

【市政記者クラブの皆様へ】

例年、夏場を中心に腸管出血性大腸菌感染症(O-157等)が多数発生しています。

記者クラブ各位におかれては、次のことを市民の皆様呼びかけていただきますようお願いいたします。

- 帰宅時、食事前、トイレ、おむつ交換のあとは石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。
- 浴槽は毎日洗い、浴槽につかる前は肛門部等を十分に洗いましょう。
- 激しい腹痛、水様便、著しい血便などの症状があったら、すぐに病院で検査を受けましょう。
- 調理するときは十分に加熱し、調理した食品は速やかに食べましょう。
- 焼き肉の際など、生肉に触れた箸で食べないようにしましょう。
- 包丁、まな板、布巾等は、よく洗った後、熱湯をかけるなどして消毒しましょう。
- 高齢者や乳幼児の方は、症状が重くなりやすいので、感染予防に配慮し、感染が疑われた時は、すぐに医師の診察を受けるようにしましょう。